

# 第17回バイオマス活用総合講座

## 開催案内

日時：平成30年8月7日(火)～9日(木)

場所：馬事畜産会館 二階会議室(東京都中央区新川)

# 第17回バイオマス活用総合講座 開催要領

一般社団法人日本有機資源協会

1. 名称	<b>バイオマス活用総合講座</b>
2. 趣旨	<p>地球温暖化対策、生物多様性保全など、持続可能な循環型社会形成に向けた取組が進められる中で、「バイオマス・ニッポン総合戦略」に始まり、「バイオマス活用推進基本法」の施行、「バイオマス活用推進基本計画」の策定及び見直し等を受けて、再生産が可能なバイオマスを効果的かつ効率的に活用することが全国的な、また、アジアを含めた世界的な課題となっています。</p> <p>バイオマスの活用は、グリーン産業、静脈産業としても期待され関連技術の研究開発も盛んであり、特に持続可能な食料生産に資するコンポスト化や温室効果ガス排出量削減に資する電気や熱等へのエネルギー化などの分野では事業化が進んでいます。また、災害の発生を機に再生可能エネルギーの一法としても注目されています。一方で、廃棄物系・未利用系を含めて、バイオマスは多種多様な資源であり、原料の収集や供給、変換技術、製品の流通と利用に至るまで多くの関係者が関わっており、持続的、安定的に製品やエネルギーを生産し利用するにはまだまだ多くの課題があります。</p> <p>一般社団法人日本有機資源協会は、「有機性資源の総合的な有効利用の促進を図り、持続可能な循環型社会の構築と環境保全に寄与する活動を推進する」ことを目的に設立され、バイオマス活用推進の加速化に向けて様々な事業を展開しています。</p> <p>今年度も人材育成事業として、バイオマス活用全般についての知識の習得を目的に「バイオマス活用総合講座」を開催いたします。</p> <p>本研修において所定の成績を収めた研修修了者は（一社）日本有機資源協会によって「<b>JORAバイオマスアドバイザー（初級）</b>」として認定され、（一社）日本有機資源協会が実施を予定している「<b>バイオマス活用アドバイザー養成研修</b>」「<b>コンポスト生産管理者養成研修</b>」「<b>メタン発酵技術アドバイザー養成研修</b>」等の受講資格を取得したことになります。また、（一社）産業環境管理協会が運用する「<b>エネルギー・環境マネジャー キャリア段位制度</b>」の「<b>認定レベル3</b>」に位置づけされます。</p>
3. 研修内容	<p>バイオマス活用全般について必要とする知識の習得を目的として実施します。</p> <p>※ 講義内容は：添付の「講義概要」参照</p>
4. 実施日程	<p><b>平成30年8月7日（火）～9日（木）</b></p> <p>※添付の「日程（案）」参照</p>
5. 実施場所	<p>馬事畜産会館 二階会議室（東京都中央区新川2-6-16）</p> <p>電話：03-3297-5618（協会事務局）</p>
6. 受講資格	受講時満20歳以上となる者
7. 受講者定員	<p>20名とし、申込受け先着順で定員に達し次第締切ります。</p> <p>ただし、受講者が少数の場合は開催を中止する場合があります。</p>

8. 受講申込方法	<p><b>平成30年7月31日(火)まで</b>に、添付の「バイオマス活用総合講座受講申込書」に所要事項を記入し、FAXまたは電子メールにて一般社団法人日本有機資源協会 事務局まで送付して下さい。受付完了確認後、第9項記載の受講料請求書を送付いたしますので、到着後にお振込みをお願いします。</p> <p>一般社団法人日本有機資源協会 事務局</p> <p><b>FAX 03-3297-5619</b></p> <p><b>E-mail <a href="mailto:suzuki@jora.jp">suzuki@jora.jp</a></b></p>
9. 受講料	<p>本研修の受講料は下記のとおりです。なお、費用は前納としますが、特別の理由により前納が困難のときは、(一社)日本有機資源協会が別途指示する方法により納入することができます。なお、受講料の対象となる費用は、聴講料、資料代、消費税込みであり、宿泊費及び食事代は含まれていません。(交流会費用は協会負担)</p> <p>① 一般社団法人日本有機資源協会会員 参加者1名につき <b>60,000円</b>  <b>但し、日本有機資源協会学生会員は、40,000円</b>  (受講に合わせてご入会頂くことも可能です。)</p> <p>② 一般(非会員) 参加者1人に付き <b>75,000円</b>  <b>但し、日本有機資源協会が定める学生資格者は、一人50,000円</b></p> <p>なお、<b>1事業者内及び同一校内の学生が複数人での受講申込に関しましては、第12項の連絡先へ相談ください。</b></p>
10. 受講料納入方法	<p>受講料は下記口座にお振込みください。(振り込み手数料は、受講者負担)</p> <p>銀行名：三井住友銀行 神田支店  銀行コード 0009 支店コード 219</p> <p>種別：普通預金  口座番号：2036073  口座名義：一般社団法人日本有機資源協会  イッパンシャダンホウジンニホンユウキシゲンキョウカイ</p>
11. 受講者に対する本講座の効果	<p>①本研修(3日間)修了者は、地域・職域におけるバイオマスの活用について、必要な基本的知識を習得したことになり、(一社)日本有機資源協会によって「<b>JORAバイオマスアドバイザー(初級)</b>」として認定されます。</p> <p>②本研修における研修修了考査において所定の成績を収めた研修修了者は、バイオマス活用、コンポスト生産管理、メタン発酵技術等について基本的知識を習得したことを認め、(一社)日本有機資源協会が実施を予定している「<b>バイオマス活用アドバイザー養成研修</b>」「<b>コンポスト生産管理者養成研修</b>」「<b>メタン発酵技術アドバイザー養成研修</b>」等の受講資格を取得したことになります。</p> <p>③(一社)産業環境管理協会が運用する「<b>エネルギー・環境マネジャー キャリア 段位制度</b>」の「<b>認定レベル3</b>」に位置づけされます。</p>
12. 本件連絡先	<p>一般社団法人日本有機資源協会 事務局主幹 鈴木 博</p> <p>〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館401号室</p> <p>TEL: 03-3297-5618 FAX: 03-3297-5619</p> <p>E-mail <a href="mailto:suzuki@jora.jp">suzuki@jora.jp</a></p>

## 第17回バイオマス活用総合講座 日程（案）

開催日	時間	講習内容	講師
一日目 8月7日 (火)	12:45～	受付	
	13:00～13:15	オリエンテーション	事務局
	13:15～13:20	開講にあたっての挨拶	一般社団法人日本有機資源協会
	13:20～14:40	バイオマスをめぐる情勢	(予定)農林水産省
	14:40～14:45	(休憩)	
	14:45～16:15	コンポスト化	牛久保 明邦 (東京農業大学 名誉教授 ・ (一社)日本有機資源協会 会長)
	16:15～16:25	(休憩)	
	16:25～17:45	バイオマス変換・環境問題と 微生物機能	兒玉 徹 (東京大学 名誉教授 ・ (一社)日本有機資源協会 前会長)
	18:00～19:30	(交流会)	
二日目 8月8日 (水)	9:10～10:30	木質バイオマス(概論)	菅野 明芳 (㈱森のエネルギー研究所 取締役)
	10:30～10:40	(休憩)	
	10:40～12:00	飼料化(エコフィード)	高橋 巧一 (㈱日本フードエコロジーセンター 代表取締役・ (一社)全国食品リサイクル連合会 会長)
	12:00～13:00	(昼食)	
	13:00～14:20	炭化	凌 祥之 (九州大学大学院農学研究院 教授)
	14:20～14:30	(休憩)	
	14:30～15:50	木質バイオマス(エネルギー編)	川越 裕之 (一社)日本木質バイオマスエネルギー協会 専門調査員)
	15:50～16:00	(休憩)	
16:00～17:20	メタン発酵	李 玉友 (東北大学大学院工学研究科 教授)	
三日目 8月9日 (木)	9:10～10:30	地域バイオマス活用システム	菅原 良 ((一社)日本有機資源協会 次長 ・ バイオマス活用アドバイザー)
	10:30～10:40	(休憩)	
	10:40～12:00	再生可能エネルギーとしての バイオマスの役割	坂西 欣也 (国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 所長代理)
	12:00～13:00	(昼食)	
	13:00～14:20	バイオ液体燃料	山根 浩二(滋賀県立大学 理事・副学長 工学部教授)
	14:20～14:30	(休憩)	
	14:30～15:50	植物由来プラスチック	木村 俊範 (北海道大学名誉教授・日本有機資源協会 副会長・日本バイオマス製品推進協議会会長)
	15:50～16:10	研修修了考査	
	16:10～16:25	研修修了考査出題解説と意見交換	
16:25～16:30	閉講にあたって		

\* 講義順および講義時間は、6月時点の予定のため、実施時点で変更になる場合がございます。

## 第17回バイオマス活用総合講座 講義概要

番号	講義名(仮題)	概 要
1	バイオマス概論及びバイオマスをめぐる情勢	バイオマスの種類と分類, 変換技術の種類・特徴などの概論に始まり、「バイオマス活用推進基本法」等のバイオマス活用に関する施策や補助制度, バイオマス産業都市やバイオ燃料, バイオマス廃棄物の利用など国内外に向けたバイオマス活用の取組の最新情報, 等
2	再生可能エネルギーとしてのバイオマスの役割	再生可能エネルギーのうちバイオマスを活用することの役割, 地球温暖化防止(温室効果ガス削減), 最近の技術動向, 等
3	バイオマス変換と微生物	バイオマス活用と微生物機能, 微生物とは, 微生物利用の歴史と現状, 微生物機能を開発するためには, 微生物はどんな分野で利用されるか, 微生物と資源・エネルギー・環境との関わり, 等
4	飼料化(エコフィード)	エコフィードシステムとは, エコフィードの必要性と可能性, エコフィード飼料化事業の類型と事例, エコフィードシステム構築の手順, エコフィード給与試験例, 等
5	コンポスト化	コンポスト化とは, コンポスト化の原材料, コンポスト化の方式, コンポスト化の条件, コンポスト化における留意点, コンポスト製品の品質と施用における留意点, コンポスト利用の推進, 等
6	メタン発酵	メタン発酵の原理および操作因子, 日本におけるメタン発酵事例, 海外におけるメタン発酵事例, 液肥およびコンポストの生産, メタン発酵を基幹施設としたバイオマス活用推進の構築, 等
7	木質バイオマス	持続可能な社会と森林バイオマス, 木質バイオマスの利用方法, 木質バイオマスの利用事例, バイオマス導入の工夫, 新ビジネスモデル, 等<(概論)とエネルギーに特化した(エネルギー編)>
8	炭化	炭化とは, 炭化炉の種類, 炭化の現状, 炭化物の機能(既往の活動成果), 炭化の問題点, 炭化技術の展望, 炭化に関する国際的な動向, 炭化と地球温暖化防止(炭素貯留), 等
9	植物由来プラスチック	バイオマスプラスチックとは, バイオマスプラスチックに関する検討経過, 生分解性プラスチックとバイオマスプラスチック, バイオマスマーク(認証システム), 技術動向, 課題と展望, 等
10	バイオ燃料(液体燃料)	バイオ燃料とは, バイオ燃料製造の現状と将来展望, バイオディーゼル燃料, 等
11	地域バイオマス活用システム	地域バイオマス活用システムの考え方, バイオマス資源化利用の現状と課題, 地域バイオマス活用システムのケーススタディー, バイオマス推進計画の策定方法と留意点, 等
12	研修修了考査	各講義内容の習熟度を確認するための考査(30問程度)
13	研修修了考査出題解説と意見交換	研修修了考査の解答および解説とバイオマス活用に関するフリーディスカッション

※ 番号は講義順とは異なります。